

2022年 4月 25日

2021年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 立川ユネスコ協会

代表者・役職名 氏名 会長 清水貞樹

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

立川における「ユネスコ活動」の推進

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

立川市の有志4人で、2014年11月に「立川ユネスコ協会設立発起人会」を発足しました。その後2年あまりかけて、2016年7月に「立川ユネスコを考える会」を設立し、ユネスコ活動の夢を語り合うとともにユネスコカフェなどの活動を推進しました。それと並行して「日本ユネスコ協会連盟」の指導助言を頂き、2018年5月に加入認定されました。また、立川ユネスコスクール(東京賢治シュタイナー学校)・国立音楽大学・玉川上水ネット・多文化共生センター・日本ネパール友好協会などと連携しつつ活動を広げ・推進しています。現在の会員数:34名。(内、団体会員2団体)

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

UNESCO憲章前文の「戦争は、人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」の精神をベースに、教育・科学・文化を通して世界平和を進め、自由で平等な差別のない社会の実現をめざし、立川地域での活動を展開して行きます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

ユネスコ憲章に示されたユネスコ精神を立川の地域で展開して行くため、2021年度では下記の活動を推進して行くこととしていましたが、コロナ禍による影響で活動を停止し、下記のように計画変更しました。*変更回数などを[]内に記述。

- ・ユネスコカフェ開催 : 身近なテーマから地球の平和を考えるカフェを開催 [2回→0回]
- ・平和の心コンサート : 音楽の美しさ、楽しさを通し、平和の心を発信する [1回→0回]
- ・国際交流(ネパール) : ネパールとのネット国際交流を開催し、教育を中心に考えて行く [4回→0回]
- ・国際交流(立川市内) : 立川市内在住の外国の方々との交流・支援を推進する [1~2回→0回]
- ・地域遺産保全(1) : 玉川上水・分水の観察会の開催 [1~2回→0回]
- ・地域遺産保全(2) : 柴崎分水の水を使った立川最期の田圃の保全支援 [2回→0回]
- ・ユネスコたより発行 : 立川ユネスコたよりの発行 [2回→0回]
- ・世界寺子屋運動 : 「募金活動」、「書きそんじハガキ回収活動」の推進 [継続→未活動]

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

4項に記述した様に、結果的にコロナ禍の影響で残念ながら活動を停止しました。

次年度は、コロナ禍が終息することを祈りつつ、活動を開始する方向で、4月中旬から役員会などの会議などを開始して活動を始めています。

立川市内の関連団体との交流、参加者の加入促進など立川地域でのユネスコ活動の浸透を改めて推進して行きたいと考えています。

- ・ユネスコカフェ開催 : 0回
- ・平和の心コンサート : 0回
- ・地域の遺産保全 : 0回
- ・国際交流 : 0回(ネパールの学校とネット(Skype)による交流会の実施を準備中)
- ・ユネスコたより発行 : 0回(立川ユネスコたより発行)
- ・世界寺子屋運動 : 実質的に活動無し(「募金活動・書きそんじハガキ回収活動」)

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

2021年度は、2020年度に続いてコロナ禍の影響で残念ながら計画通りの活動を実施することが出来ませんでした。

2022年度は社会情勢をみつつコロナ禍が終息することを祈りながら、2021年度に中止した各活動を下記の様な想いから開催・推進して行きたいと思えます。

- ・2022年度で、「日本ユネスコ協会連盟」に加入認定されてから5年目になり、日本ユネスコ協会連盟・東京都ユネスコ連盟を始めとした先輩のユネスコ協会との連携が出来てきました。今年度は、コロナの終息を祈りつつ、更に有効な活動を、模索・展開して行きたいと思えます。
- ・今までの活動の中で、立川市教育委員会・や立川市内の各団体(国立音楽大学・東京賢治シュタイナー学校・多文化共生センター・日本ネパール友好協会・玉川上水ネット・市民活動センターたちかわ等)とのパイプが出来てきました。今後も、上手く連携した活動をして行くとともに、更に連携する団体を広げて行きたいと思えます。
- ・「平和の心コンサート」などの開催に当たって、コロナの影響によって集客に良い会場の確保が難しい状況にあります。コロナの影響をみつつ、早期の方針策定や関連団体との連携も含めて対応して行きたいと思えます。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。